

◆ 今週のコメント

- ・ 麻しんの小児科定点からの報告が、先週の1例に続き、3例(1歳 2例, 4歳 1例)あります。全国(第38週)の定点当たり報告数は減少していますが、過去5年平均値をやや上回っており、今後も動向にご注意ください。
- ・ 重篤な症状を呈することもある無菌性髄膜炎の患者の髄液、糞便から、エコーウイルス30型 2例(12歳, 29歳)が検出されています。エコーウイルス30型については、平成15年に本市、全国ともに流行しており、夏から秋に多い傾向がありますので、本年についても警戒が必要です。

◆ 今週のトピックス:〈感染性胃腸炎〉

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3.10で、7月以降、横ばい傾向が続いていますが、本疾患は小児感染症の中で、報告が最も多い疾患です。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・ 平成19年5月25日から始まった、京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 2例(肺結核 1例 その他 1例)(第38週追加分を含む)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.10	127
	② 突発性発しん	0.54	22
	③ 水痘	0.29	12
	④ ヘルパンギーナ	0.20	8
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.17	7
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP,糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスB5型(1)	クループ症候群(第39週)	NP	エコーウイルス30型(2)	無菌性髄膜炎(第38週)	SF, FC
コクサッキーウイルスB5型(1)	感染性胃腸炎(第38週)	FC			

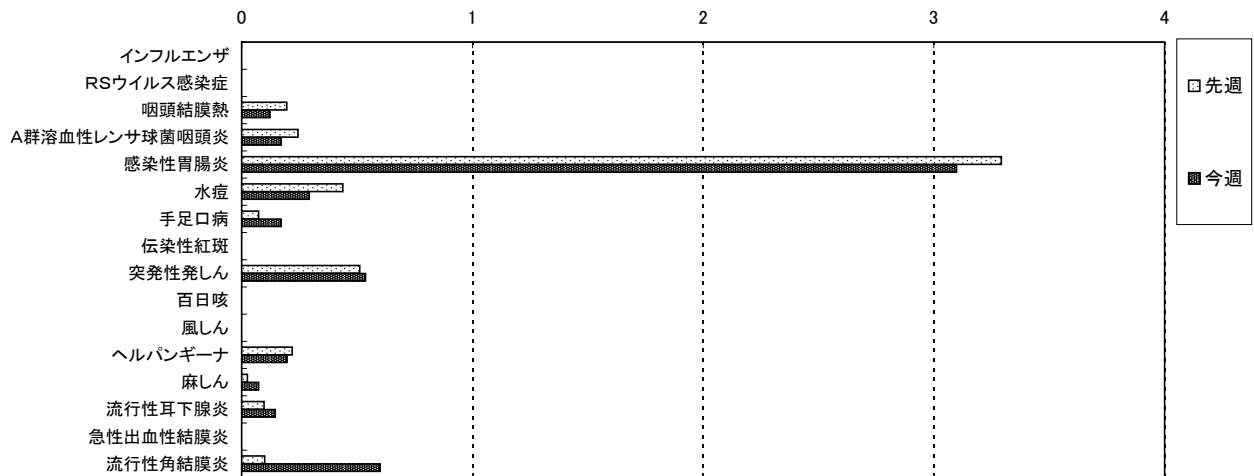
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈感染性胃腸炎〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

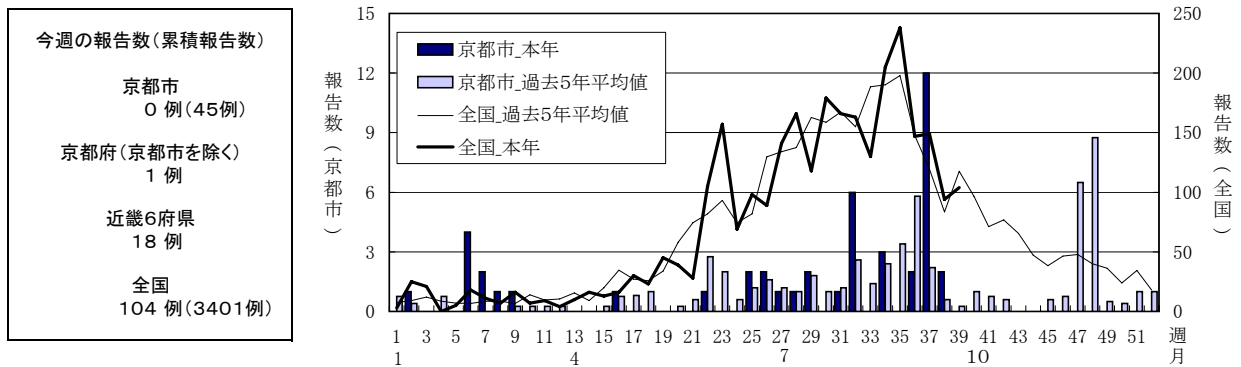
(注) 京都市のデータは、平成19年10月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第39週)と先週(第38週)の定点当たり報告数の比較

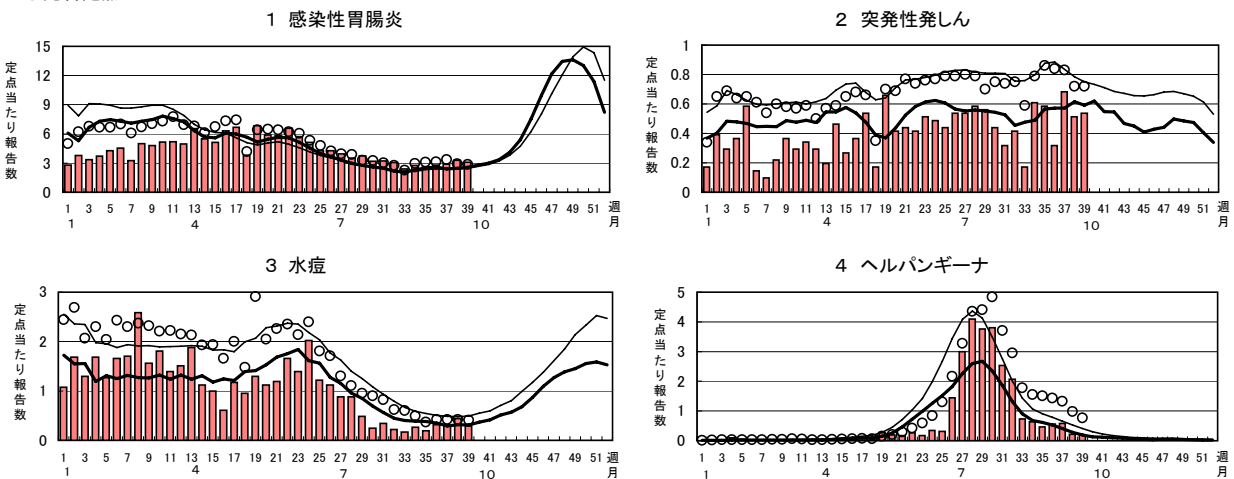


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

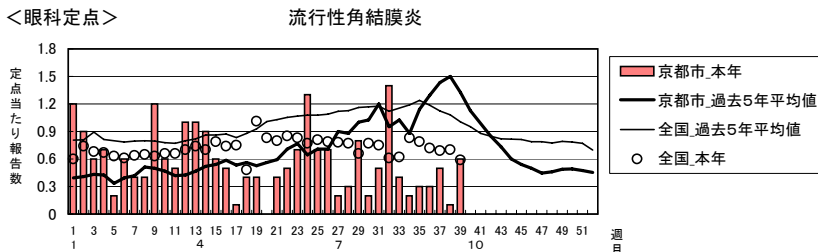


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第39週)のトピックス: <感染性胃腸炎>

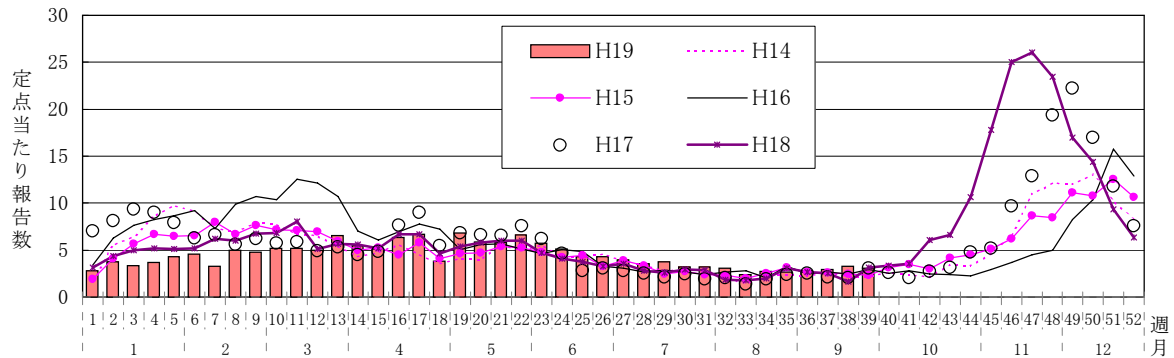
定点当たり報告数は3.10で、7月以降、横ばい傾向が続いていますが、本疾患は小児感染症の中で、報告が最も多い疾患となっています。過去5年の推移では、平成18年(昨年)は、10月から増加が始まっており、本年についても、今後、増加の可能性がありますので、ご注意ください。

9月の年齢階級別構成割合をみると、本市、全国ともに1歳が15.4%と最も多くなっています。

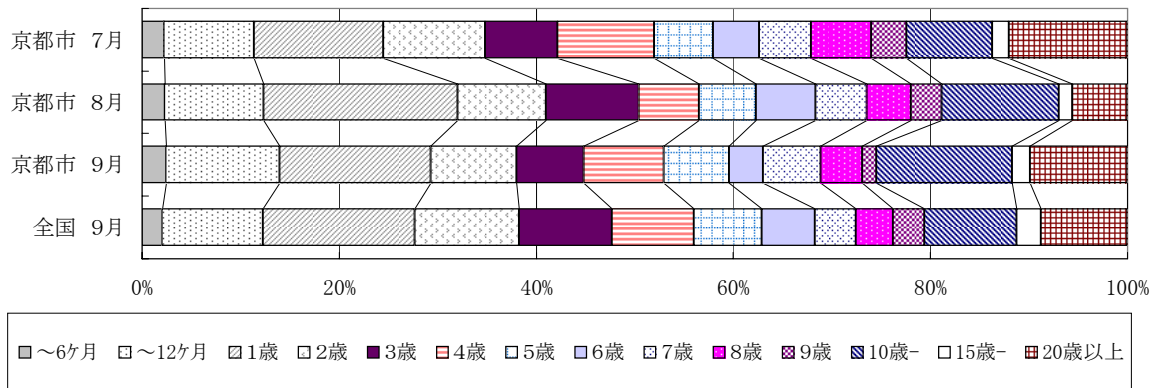
過去10年間の推移をみると、平成16年以降、定点当たり報告数が300を超え、平成18年は最も多くなっています。ノロウイルスの検出件数についても、平成18年が最も多くなっています。

集団発生の防止のため、手洗いの励行はもちろん、吐物や下痢便の適切な処理を心掛けてください。

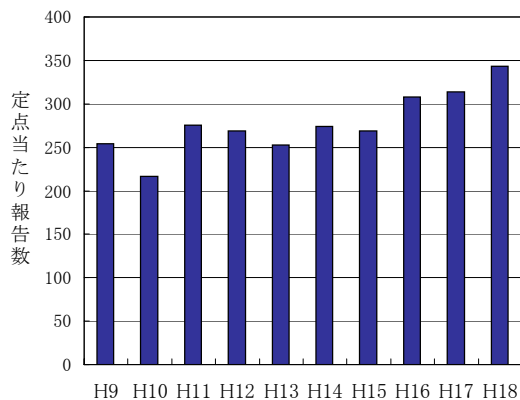
定点当たり報告数の推移



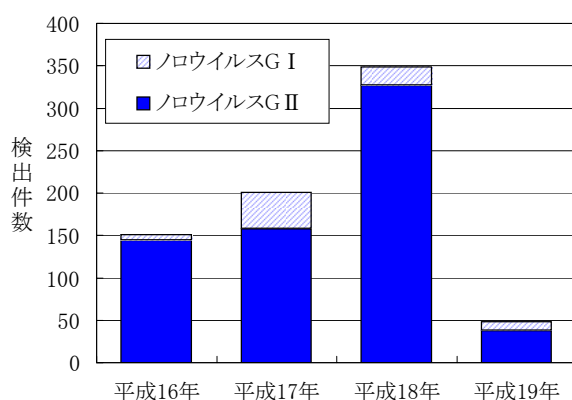
本市及び全国との年齢階級別累積報告数構成割合の比較



感染性胃腸炎の定点当たり報告数の年推移



本市のノロウイルスの検出状況の年推移



京都市麻しん全数発生報告

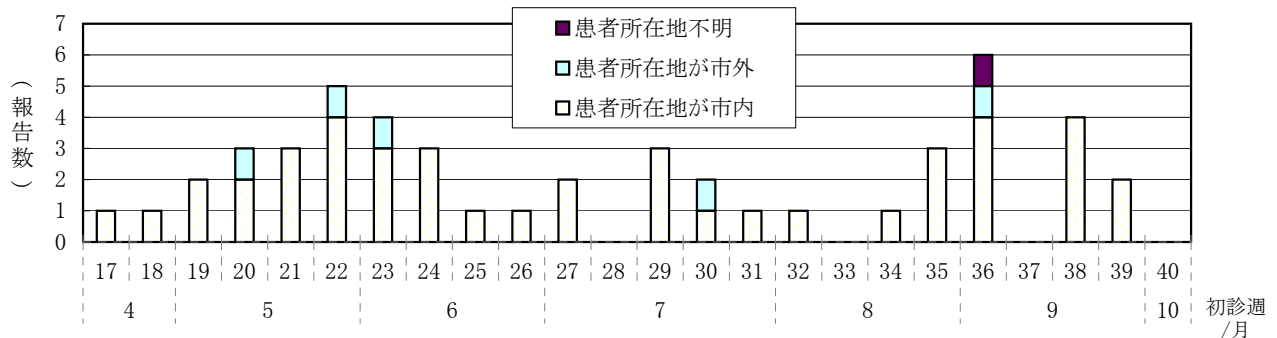
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から10月7日までの報告を初診週別に集計しています。

1 推移

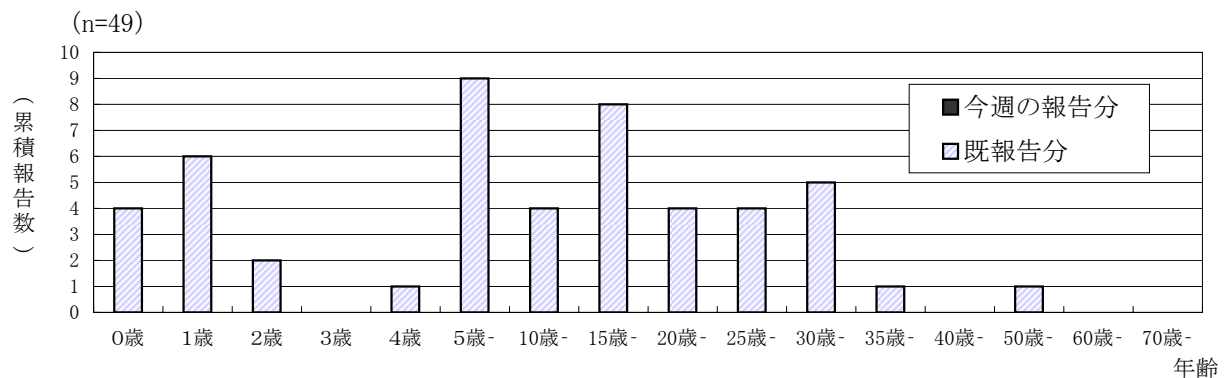
初診週	第36週	第37週	第38週	第39週	第40週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分	-	-	-	-	-	-
既報告分	6	-	4	2	-	49
合計	6	-	4	2	-	49

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第39週

疾病,保健所別報告数

平成19年9月24日～平成19年9月30日

データ入手日:平成19年10月9日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	2	7	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1	11	-	-	-	2	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	1	1	1	1	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	19	1	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	14	1	1	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	1	16	1	2	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	2	33	6	1	-	9	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	5	7	127	12	7	-	22	-	-	8	3	6	-	6	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	2.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.50	1.75	0.50	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.33	3.67	-	-	-	0.67	-	-	0.67	-	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	8.00	-	0.50	-	0.50	-	-	-	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.25	0.25	0.25	0.25	-	-	1.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	6.33	0.33	0.67	-	-	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	2.80	0.20	0.20	-	0.40	-	-	-	-	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	0.14	2.29	0.14	0.29	-	0.29	-	-	0.14	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.25	0.50	8.25	1.50	0.25	-	2.25	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.12	0.17	3.10	0.29	0.17	-	0.54	-	-	0.20	0.07	0.15	-	0.60	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第39週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年9月24日～平成19年9月30日

データ入手日:平成19年10月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	5	-	-	-	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	7	-	-	-	1	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	127	4	18	18	12	8	12	6	2	8	7	-	18	4	10	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	12	-	1	2	1	3	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	7	-	2	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	22	1	11	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢1	8	-	1	1	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢1	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢1	6	-	1	-	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.12	-	-	-	-	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.17	-	-	-	0.02	-	0.02	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.10	0.10	0.44	0.44	0.29	0.20	0.29	0.15	0.05	0.20	0.17	-	0.44	0.10	0.24	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.29	-	0.02	0.05	0.02	0.07	0.02	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.17	-	0.05	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	0.54	0.02	0.27	0.20	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢1	0.20	-	0.02	0.02	0.10	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢1	0.07	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢1	0.15	-	0.02	-	-	0.02	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.60	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.30	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第39週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年10月9日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	1	2	4	5	8	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	12	11	10	10	7
感染性胃腸炎	113	108	114	119	135	127
水痘	11	8	13	13	18	12
手足口病	6	15	7	5	3	7
伝染性紅斑	3	1	8	3	-	-
突発性発しん	25	24	13	28	21	22
百日咳	1	1	-	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	26	19	23	24	9	8
麻しん (※)	-	2	4	-	1	3
流行性耳下腺炎	8	10	9	6	4	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	3	3	5	1	6
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	208	205	209	218	210	203

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.02	0.05	0.10	0.12	0.20	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	0.29	0.27	0.24	0.24	0.17
感染性胃腸炎	2.76	2.63	2.78	2.90	3.29	3.10
水痘	0.27	0.20	0.32	0.32	0.44	0.29
手足口病	0.15	0.37	0.17	0.12	0.07	0.17
伝染性紅斑	0.07	0.02	0.20	0.07	-	-
突発性発しん	0.61	0.59	0.32	0.68	0.51	0.54
百日咳	0.02	0.02	-	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.63	0.46	0.56	0.59	0.22	0.20
麻しん (※)	-	0.05	0.10	-	0.02	0.07
流行性耳下腺炎	0.20	0.24	0.22	0.15	0.10	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.30	0.50	0.10	0.60
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	5.21	5.23	5.32	5.70	5.20	5.40

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。